

高エネルギー密度全固体電池・電極

10年にわたる試作・評価実績

液系では実用化できないアノードフリー（Li金属）、Siなどの高容量負極を用いた高エネルギー密度設計の全固体LIBの開発を加速しませんか？

様々な負極材料を用いた全固体電池の作製案をご提案

エネルギー密度の高い全固体電池を開発するためには、負極材料の選定がポイントとなります

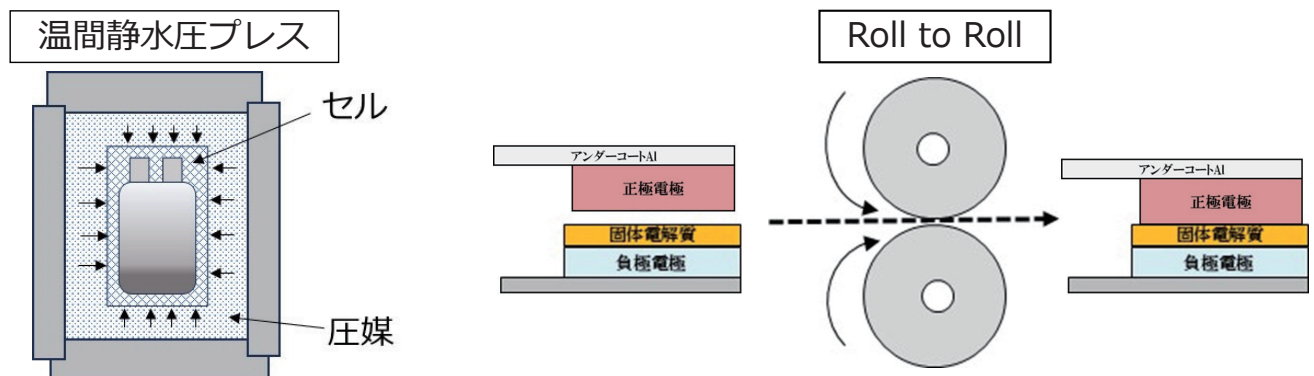
■ 正極はNCM系、負極にSi、Si-C複合体、Li金属を用いた電池の開発が進められています

各負極材料を用いた全固体電池のエネルギー密度

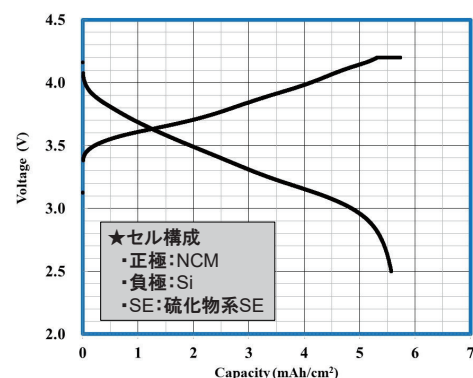
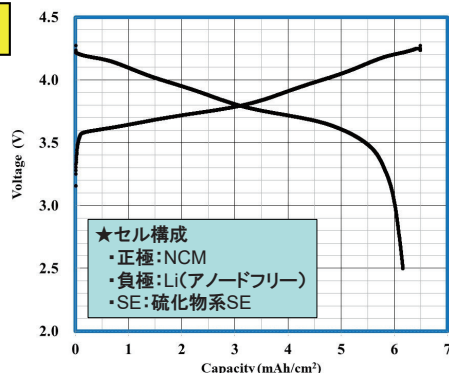
正極	負極	エネルギー密度 (Wh/L)
NCM	炭素系	400
NCM	Si系	800
NCM	Li-metal	~1000

KRIで取り組んでいる全固体電池の作製技術

全固体電池は活物質-固体電解質、固体電解質粒子同士の界面を接合するため、高圧処理が必要になります。K R Iでは、Roll to Roll、温間静水圧プレス（WIP）を適用し、評価用電池の試作を行うことが可能です



★開発セル



お客様の目的に合わせた電池系・作製プロセスでの開発支援・評価をご提案いたします